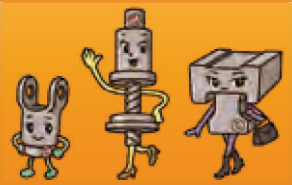


鈴秀四季



No.79
Autumn
2025

しゅうこう 秋光

つるべ落としの秋の夕暮れ、
山の稜線を際立たせる夕日は、ひとさわ輝きを増してかすかな風にたゆたう、ススキの穂を染める。
遠慮がちに“ちぎれ雲”はたなびき、鳥たちはねぐらへ急ぐ。短くなった一日を惜しむかのように。



「ゴールはここじゃない！」

『和歌山県生石高原から臨む夕景』撮影:OB 小新井 治朗さん

技術部 技術開発課の濱田です。

今回の表紙を飾る記事の依頼を受けたのは8月。お盆休み直前のことでした。私の住む山口県は連休初日から天候が崩れ、13日にかけて線状降水帯の影響で九州、中国地方は記録的な大雨になりました。鉄道や飛行機だけでなく高速道路までストップし、私の旅行計画もすべて流れ去ってしまいました。同じように帰省や旅行を断念した方も多かったのではないのでしょうか。

それでも「この夏を異常気象なんかに邪魔させたくない」と思った私は、残り少ない8月の週末を利用して、私の地元 熊本県の阿蘇へ向かいました。みなさんご存じの「阿蘇山」は、東西に連なる阿蘇五岳(根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳)を中心とした山々の総称ですが、実はその周囲128kmに広がる外輪山を含めたカルデラ全体のことを言います。今回の目的は、その最高峰・高岳(標高1592m)登山なのです。到着が遅れてしまい、登山口に着いた頃の気温は既に30℃超え、木陰のない岩肌むき出しのルートは過激でした。同行したのは登山経験が少ない後輩・末島さん。「ここは一発、先輩らしさを見せなきゃ」と気遣いの声掛けしながら登ったものの、5合目あたりでそんな余裕は消え去りました。折れそうになる私の心は、後ろを歩く後輩の気配に励まされ、(プレッシャーに)背中を押されるように登りきることができました。標準タイムの2時間半は大幅にオーバーしたものの、山頂に時折吹く風は、ほのかな硫黄の香りが心地よく、眼下に広がる阿蘇谷はまさに絶景。緑に埋め尽くされたカルデラの台地には、阿蘇市がすっぽり収まっていて、牧草地あり、温泉街あり、人の生活がそこにあります。毎度のことながら、山頂に立てば「ああ、来てよかった」を再確認。40歳を機に軽い動機で始めた登山も、この高岳で九州百名山のうち目標としていた6座踏破を達成。地元の熊本でのフィニッシュは格別です。次の目標は中国、四国地方の山々です。楽しみは尽きません。

さて、私の勤務する山口工場では、冷間引抜による異形磨棒鋼製品を生産しています。

お取引先様へ納入された後は、熱処理や切削・穴あけ工程を経て最終加工され「LMガイド」として自動搬送装置や半導体製造装置に組み込まれ、重要な役割を担っています。機械の内部にあるので普段は目にする機会こそありませんが、「世界中で使われているスマートフォンやパソコンの製造過程に、私たちの商品が活躍してくれているんだ。」そんな風に思うと誇らしくさえ感じます。

私が担当する技術開発の仕事は、お客様からの要請対応だけでなく、市場のニーズを捉えて営業部門が提案できる工法や商品づくりを検討すること。しかし、金型設計から製造工程などを図面上だけで展開するものではありません。実際の生産現場での量産操業にいたるまで、そのすべてに携わっています。複雑な形状はもちろん、0.01mm単位のシビアな精度が要求される世界、狙い通りに進むことなど皆無です。部署を超えた現場の仲間たちの力を借りながら、試行錯誤を繰り返す。だからこそ、製品化そして量産化できた時の喜びは計り知れません。

早いもので、私が山口工場に入社してから20年。2020年に稼働した山口第2工場によって出荷能力が3倍となり、仲間もたくさん増えました。これからもこのエネルギーギッシュな仲間たちと一緒に、仕事も趣味もたのしく盛り上がっていきたいと思っています。



技術部 技術開発課
主査 濱田 寛之



— 鉄鋼業界で働くことについて —

「ワークライフバランス」を大切にしている方は近年さらに増えています。皆さん多趣味という印象ですが、仕事と趣味、どうやって両立していますか？

浅見 私は筋トレが趣味なんですけど、もともとは週4でジムに通いたいと思っていました。でも実際やってみるとそれがきつくて、週3に変えたらムリなく両立できました。仕事が忙しくて週2しか行けなくなっちゃったからって辛いかな。こうやって無理のない範囲で自分の中のルールを変えてみる、っていうのも趣味ですね。

大林 私は両立というより、割り切ってますね。平日は仕事、趣味は週末。どうせバイク乗るなら遠出したいし、仕事終わりにそれはちょっと無理だから、けど仕事の内容で満足感がある時はやっぱりツーリングしても気持ちいいし、逆に月曜日の仕事が大変なのが分かっていてと乗る気はしなくなりましたしですね。

稲垣 僕は両立なんてことあんまり考えたことないですね。上の子が最近ドッジボールクラブに入団して、付き合ううちに自分も参加するようになったんです。でも平日は残業だともう練習時間間に合わなかったり。あと金曜の夜勤明けは辛い(笑)。考えてみると自分もとらかっていうと大林さんと同じような意識ですね。仕事は仕事、割り切ってます。

池田 それでいて僕はあんまり割り切れてないかも。仕事終わったらそのまま直で遊びに行くんですけど、その日が多いですね。車中泊の溜まり場に、ちょっと遅れてもいいから行って、夜12時くらいまで遊んで。次の日は眠たいまま仕事、みたいなのを繰り返してました(笑)

河野 僕はキッパリ分ける派です。仕事終わりは家でまったりしてますけど、休日はキャンプ行ったり釣りに行ったり、登山行ったり。多趣味なんです。冬ならスノボもしますね。ちなみに通勤はこれまた趣味のバイクです。

——休日を楽しみすぎて月曜日が憂鬱になったりすること、あると思います。そんな時みなさんはどうやって乗り切っていますか？

浅見 私は仕事、普通に好きなので平気ですね。とはええ土日思いっきり遊ぶけど明日から働くっていうのは確かに切り替えが難しい。でも遊ぶためには働かなきゃいけないし、休日とか趣味を楽しむために頑張るみたいな、そういうモチベーションで乗り切ってますねー。それに、仕事のための筋トレでもあるから。

大林 私も一緒にですけど、正直もう慣れた(笑)。仕事も苦しいばかりじゃないですね。たまたちも楽しんでる瞬間もあって、それでも頑張らなくて思えるのは何だろう。責任感って言うほど大したもんじゃないけど、まあやる以上はちゃんとやらんといかんかな、という感じ。なんか真面目になっちゃったけど。

——みなさん、お金のためだけの仕事じゃないということでしょうか。

稲垣 そうですね。お金稼ぐために働くっていうのは一応ベースにありますけど、働く理由がそれだけっていう意識はあんまりないです。高校卒業してからずっと鈴秀で働いてるんで他を知らないですけど、良くしてくれる同僚や先輩上司たちがいるのが大きいと思う。感じ悪い人たちがばかりだったら違う未来も想像できたのかもしれない。

河野 僕はこれの中で唯一の転職組ですけど、鈴秀の待遇めちゃいいですよ。前職ではサービス残業してたんですけど、やりがいがありましたけど休みが少ないし、給料も安かったです。っていうか、ボーナスもない。そんな職場に比べれば今は幸せですよ、給料面でも福利厚生面でも。僕はそれだけで仕事頑張れますね。

——仕事の内容自体に着目するとどうでしょうか。

池田 僕は工業高校出身なので、もともと今やってるような仕事が好きなんって、っていう気持ちで鈴秀に来たんです。だからまあ、天職というか何というかな、仕事楽しいですよ。僕の仕事では毎回毎回作ってる形が違うから、流れ作業って感じじゃないところがあるですね。それに、うちの部署は考えることができる現場なので工夫ができるという方がいますね。

稲垣 そういう意味ではうちの部署はどちらかというと単純作業。機械で材料引く張るだけの仕事って言われたらそれまでだし、飽きやすいところはあるかもしれない。でも逆に言えば体が動きを覚えちゃったら、頭には余裕が出てくる。体は機械を動かしてるんですけど、頭では次の仕事のことを考えてるみたいな。だから単純作業だけど、それだけじゃない。

河野 うちも工夫の必要がある仕事はたくさんありますね。切断は最終工程なんですけど、長尺の製品をお客さんのオーダー通りの長さに切って出荷する、っていう流れ。納期を守るために優先順位をつけるだけでなく、適合す

る短尺製品の在庫から切断対象を選定する。全体を見ながら色々な指示をしていかなきゃいけないんで、気が抜けない。もちろん楽しいところもあります。

大林 私の仕事も単純と言えば単純。とはいえ膨大な量の注文に合わせて、どのタイミングでどの素材を入荷させ、どの機械にはめ込むかを考えなくちゃいけないから、単純だけど簡単ではない。その上「現場のやりやすさ」にも気を配る。様々な要素を考えて組み立てる仕事なので、責任は感じます。でもこの辺りを割と一任されて、自己裁量でやれているから楽しいよ。

浅見 私の場合、今の仕事に飽きるってことは無いねー。大学で金属の研究して、ものづくりに携わりたいと思った結果、この業界に来るわけだし。でも一生技術部で仕事したいかって言われたら違う気もする。せっかくだからいろんな経験がしてみたい。他の部署にも興味ありますね。

——なるほど。鈴秀には海外を含めいろいろな部署がありますが、部署異動についてはみなさんどのようなイメージを持っていますか？

池田 三重工場内の違う場所で働いてみたいって思っている時期はありますね。なんて言うんです、単純ですけども大きな機械を触りたいっていう(笑)。「僕1人のでこのでかい機械動かさるんぞっていうのをちょっとやってみたい」。

稲垣 製造部門であれば他の部署に行って、いろんなことを経験してみたいと考えたことはあります。単純に楽しそうだからっていうのもありますし、その中で自分の能力を試したい、高めたい、今と違うことをやってみたい、という好奇心的な感じですかね。

大林 私は今の仕事に集中したいという気持ちの方が強いかな。もちろんやられて言われたらやるよ。そういう構えの人はいっぱいでしょう(笑)

河野 僕は入社以来8年ほどずっと同じ工程なんです。他を知らないままリーダーになっちゃったんで、他の人と比べると足りない部分があるんじゃないかと。だから他の部署も経験して製造全体の知識をつけたくなって思うところもありますね。指示する立場で他の工程を知ってあげてことはやっぱり大事だから。

池田 自分がしっかりリーダーやれているのか、っていう不安はありますよね。リーダースなら後輩や部下とどう接するかっていうのは仕事の一部になる。特に指示は難しいです。それと教育する機会も増えましたね。

——稲垣さん、池田さん、河野さんへお聞きします。答えづらいかも知れませんが、みなさんがリーダーに選ばれたのはどうしてだと思いますか？

池田 はっきりとは分かりませんけど、コミュニケーション能力でしょうか。人とのつながりや話しやすさが求められるんじゃないかなと僕は思ってます。

河野 僕の場合はそもそも同じ部署にリーダース適任者が少なかったんだと思います。入社当時、周囲の同僚は年上で、経験値の高い方ばかりでした。僕と歳の近い人達はあまり自己主張するようないなかったんで、僕が選ばれたのかなって考えています。結果論ですけど、まあタイミングですね。

——稲垣さんは本社唯一の20代リーダースとして、その辺りどうですか？

稲垣 そうなんですか？

——あ、そうなんですよ。



稲垣 うーん。池田さんの話で行くと、自分の場合教育が上手なのは全然当てはまらないですね……。後輩の教育をしてた時期もあったけど上手にできなかったし。だからそこで選ばれたわけじゃないって思ってるんですけどね。強いて言えば責任を持って仕事してたところとどうでしょうか。他の人がとうこうって話じゃなくて。工程から指示されたことだけをこなしていれば仕事したことにはなるけど、そこでさらに改善活動やQC、RAなんかに力を入れてきたのが評価されたんだと思います。

——これからのキャリアについてどうお考えですか。

浅見 さっき別部署でいろいろ経験したって言ったけど、それは今の私には業界の全体が見えてない感覚があるから。うちに納入される素材のことや、出荷後のマーケットのことが分からない状態。そんな状態でずっと仕事していくのはイメージできません、窮屈な感じがする。もっと知識をつけた状態

で仕事した方が絶対にいい仕事ができると思うし、もちろんその上で実績を認められたらそれが一番いいと思う。ポジションは後から自ずとついてくる、みたいな受け止め方です。ただ、入社当初から「女性初管理職」目指して頑張れ、とは言われているから、それとも一応視野にはあって。「鈴秀初」の実績を作ってみないっていうのはありますね。

大林 まだまだそこまで考えられていないんですけど、管理職を目指すならば色々な経験をしておくべきだと思います。客観的に見て、今の自分に管理職の能力は全然足りてないと思うてる。具体的には人を動かす力、周り全体を見る力。そんな力を身につけていきたい。

稲垣 それってまず工程掛に必要な能力です(笑)

池田 自己評価ではそんなところなんです(笑)

——みなさんの前向きな姿勢を見習っていかなければ、と感じております。やはり出世したいと思うこと、そうやって自らを奮い立たせることは大事でしょうか。

池田 僕は大事だと思いますけど、やる気に関わってくるってことなので、あとは僕の場合、後々の自分を楽にするために頑張ってるという面もあります。まあ多分、結局楽はできないんでしょうけど(笑)。

河野 出世すること自体、僕はそんなに大事じゃないと思いますね。というのが人の考えを変えるのはそんなに簡単じゃないですから。あまり出世願望がない人に無理強いするわけにもいかないというか。

稲垣 それは自分も分かる。そもそもやる気がすべてではないと思っていて。やる気がないからダメだ、っていうのもあかな話だと思うんですよ。だから人それぞれでいいんじゃないかな？ふわっとして申し訳ないんですけど。

浅見 そうだね。やる気そのものっていうか、やる気の芽先がどこに向いているか人によって違うと思うんですよ。やる気が「出世すること」に向いているし、「ものづくりを極めたい人」もあるし。だからそ会社が成り立つんだと思います。方向性がみんな一緒になる必要はない。

大林 同意です。この仕事は工程上やってもらわなきゃいけない、という時にやる気のあなはあまり関係ない。浅見さんの言葉で言えば、みんなのやる気の芽先をそれぞれ適切な方向に付けることが大切だと思う。

稲垣 さっきは人それぞれでいいと言ったんですが、この論点はどうだろう



う。自分は割と反対の意見で、組織として考えた時に、ベクトルは同じ方向を向いていitはうが良いと思う。ただこれは理想の話で、実際同じ方向を向いているのって言われたらそうじゃない。そもそもある一つの方向性をみんなが共有する場ってあまりない気がする。

——ビジョンの共有が必要。

稲垣 はい。まあ会社単位となると話が大きくなりすぎるので、もっと小さな視点で言えば、自分の部署でなかなかできていないような気がする。様々な思いで仕事をしても、仕事の方向性は統一するにこしたことはない。そこら辺が機能していけないかも知れない。仕事をさっさと終わらせて帰る、終わらない人を手伝ってあげる、どちらが良いってことを言ってるんじゃないかなって。

河野 自分の部署でいうと、なんとなくビジョンの共有はできてるのかな。みんな自分のやるべきことを自覚していて、まともにはある印象です。今以上に新人が馴染みやより環境を作っていくのが今後の課題ですね。

池田 稲垣さんの話を聞いて僕も今ビジョンの共有のことを考えてたんですけど、今まであんまりそういう発想がなかった。でも確かに同じ方向を向いて仕事に向かったほうがいいと僕も思います。うちの部署ではみんな仲良くやってますけど、それだけじゃダメですね。

——最後に、鈴秀にどういいう会社であってほしいとお考えですか。

浅見 会社としてもっと多様な武器があると、社員のみんながより安心して働けるのかなと思います。鉄鋼にこだわらず、なんかこう大きな柱となるような。

大林 なんとなく、今のままじゃダメなんだろうなという危機感みたいなものはあります。じゃあどうしていくべきか、と問われると即答はできないけど。私たちが若い世代がこれから考えて、挑戦していくべきところなんですよ。

稲垣 共有されるべき情報が一部に留まることなく、関わる人たちに展開される会社。それとある程度はしょうがないとはいえ、個人に仕事量が偏るのをなんとかしたい。

河野 現場の声が経営にも反映される会社ですかね。

池田 右に同じく。風通しのいいことが一番です。



座談会を終えて

気を付けていないと真面目な話ばかりしてしまう性を司会者が最大限に発揮し、後輩からの相談も聞いて見る場面もありましたが、結果的に興味深い内容の座談会となったのではないのでしょうか。

座談会後の編集長からの講話に「健康・家族・趣味・友達」の4つを大切にできている人は自然と仕事ができる」という言葉がありました。振り返ってみると今回の座談会はこのことを裏書きする内容だった、と言える気がしています。もしあなたが新入社員や就活生なら、この座談会を繰り返し読んでみてほしいと思います。そして「健康・家族・趣味・友達」を大切にすることがいかに仕事と関係するかということをご先輩たちから学んでほしいです。浅見さん、大林さん、稲垣さん、池田さん、河野さん、本当にありがとうございました！

高山



プロフィール

浅見 彩花【あさみ さやか】1996年生まれ

本社工場 技術部/技術開発課
好きな漫画: ジョジョの奇妙な冒険(第5部)

性 格: おおらか、人当たりが良い、面倒見が良い
仕事ぶり: メリハリを付けられ、柔軟に考え、摩擦無く交渉出来る。
周囲の期待: 仕事の幅を持ち、鈴秀初的女性管理職に！

橋本課長からの紹介

大林 駿太【おおば やし しゅんた】1996年生まれ

本社工場 製造部/CH工程掛
好きな漫画: 家庭教師ヒットマンREBORN!

性 格: マイペース、打たれ強い、立ち直りが早い
仕事ぶり: 責任感を持ち、客先に迷惑をかけないよう、頭をフル回転させている。
周囲の期待: 視野を広く持ち、様々な状況に対応できるようスキルアップして欲しい。

有吉課長からの紹介

稲垣 宗汰【いながき そうた】1997年生まれ

本社工場 製造部/CHリーダース
好きな漫画: GANTZ

性 格: 責任感が強く、何事にも意欲的
仕事ぶり: テキパキと俊敏にかたづけられる。
周囲の期待: 後輩の指導と更なる現場管理。

米原掛長からの紹介

池田 幸生【いけだ こうせい】1998年生まれ

三重工場 製造部/BNリーダース
好きな漫画: 鋼の錬金術師

性 格: 仕事に対してチャレンジヤー・真面目・親しみやすい
仕事ぶり: とにかく動いている。準備に余念がない。
周囲の期待: 皆の架け橋になる様な存在になって欲しい。

桂山課長補佐からの紹介

河野 功輝【かわの こうき】1997年生まれ

山口第2工場 製造部/切断リーダース
好きな漫画: キングダム

性 格: 真面目、穏やかで落ち着いたが社交性もある
仕事ぶり: 周りに流されず責任感が業務に没頭している(常にMAX)。言葉遣いが良く、相手を不快にさせることがない。
若いのと、しっかりしているなど感じます。
周囲の期待: 今はリーダースで色々な悩みや苦労があると思いますが、これからも更に現場作業、作業者思いの管理監督者になって頂きたい。

正田掛長からの紹介

司会

高山 陽生【たかやま よう】2000年生まれ

本社工場 総務部/管理課
好きな漫画: チ。-地球の運動について-

『桶狭間の戦い』～半可通(知ったかぶり)解説～

前号に引き続き、地元の歴史『桶狭間の戦い』のいよいよ本編です。

戦国時代も100年が過ぎ、各地域の勢力図が固まりつつあった1560年。尾張統一を果たしたばかりの織田信長の周囲には、北に斎藤氏、東には三河を支配下に収めた今川氏と大物ライバルに挟まれていました。とりわけ「海道一の弓取り」今川義元は、尾張への侵攻を虎視眈々と窺っていたのです。



名門「今川家」とおぼっちゃん当主？

群雄割拠の戦国時代といっても、形の上では未だ足利將軍家の時代。その一門として権威を持っていたのが「赤川家」「石橋家」「吉良家」。この三家は「御一家」と呼ばれる象徴的な存在でした。中でも西尾市あたりを領していた「吉良家」は実力も兼ね備え、幕府の内々実質のナンバー2の家柄。その「吉良家」の分家で、しかも最大勢力を誇ったのが西尾市今川町をルーツとする「今川家」なのです。

「御所(足利將軍家)が絶えなば、吉良が絶えなば、今川が継ぐ」と謳われるほど將軍家に近い家柄だったのです。「桶狭間の戦い」が起きた1560年、今川義元は「從三位左京大夫」という高い官位(＝公卿クラス、武家では將軍に次ぐ大名)。一方、織田信長といえば尾張一国を束ねているものの、「從五位下」(＝下級貴族レベル)。比べてみると、まさに「県大会優勝の中学生野球チームが、プロ球団に挑む」ような構図でした。

義元くん、波乱の青春時代 ～実は、いろいろあったんです…

「桶狭間の戦い」という物語にあって、「今川義元」は完全に信長の引き立て役。それゆえに、映画やドラマでは「名家のお坊ちゃん大名」とちゃかして描かれが。大軍で遠征してきたのに、あっさり負けちゃった愚将として扱われています。だからか、その風貌も戦国武将的ではなく貴族風。色白・麻呂眉・お齒黒茶。馬にもまたがれないオデブさんというルックスで登場します。

誕生・修業・骨肉の争い

1519年、義元くん(幼名:芳菊丸)は駿河今川氏、9代氏親のほぼ末っ子として誕生。この当時、長男と次男は跡継ぎとして残り、それ以外の男子は他家へのお養子か、お父さんの修業をする出家コースへまっしぐらです。彼の場合は京都の建仁寺や妙心寺で修業。名前も「梅岳承芳(せんがくしゅうほう)」と改めました。この時の教育係が生涯の師、そして名参謀となる「太原雪斎」です。7歳のとき、父の今川氏親が没し、後継となったのが14歳の長男氏輝でした。ところがなんの運命のいたずらか、1536年、当主として頑張っていた氏輝が24歳で急死。それだけでなく、なんと同じ日に次兄の彦五郎までもが謎の死を遂げたのです。この当主と次の当主候補、二人の死については、暗殺ではないかと疑念もささやかれています。

すると、すぐさま静岡藤枝の照光寺で持戒をしていていた腹違いの兄「玄広惠探(げんこうえたん)」が次期当主に名乗りをあげて拳兵、「梅岳承芳(＝義元くん)」との家督争いへと発展します。これが有名な「花倉の乱」です。母・寿桂尼と師匠・太原雪斎先生のバックアップを得て勝利し、17歳で当主デビュー。その名を「今川義元」と改め、「海道一の弓取り伝説」が始まります。

義元くんを支えた二人の存在

寿桂尼さん(実母)

今川家のゴッドマザー。女性ながらも政治を補佐し、家中を仕切ったスーパー母上。鎌倉時代の北条政子のように「尼御前(あまみだい)」と呼ばれ、常に今川家ファーストの姿勢で、義元の死後も孫の氏真を守り今川家の存続と繁栄にその生涯を捧げました。

太原雪斎 先生(師匠・軍師)

義元くんの教育係、臨済宗の僧侶。今川家の外交・軍事・内政のすべてを取り仕切る最高顧問。隣国との紛争交渉などでは常に最前線でも対応しました。武田・北条との同盟も彼の手腕によるものです。残念ながら1555年、60歳で死去。義元くんは最良の相談相手を手失してしまいます。5年後に迫る「桶狭間の戦い」にも、し彼が生きていれば、戦国の歴史は違っていたのかもかもしれません。

信長vs義元、静かに始まっていた両家のバトル

甲相駿三国同盟



『今川義元、運命の一週間』～謎の行軍へ～

一昔前のドラマなどでは、今川義元が天下を視野に入れて上洛を目論んでいたという風に描かれていますが、実際のところは大高城の救援です。当主として家中の信頼を得るためには、孤立する仲間を見捨てるわけにはいきません。今後を見据え、隣国の信長をけん制し、権威を示すことも目的の一つだったでしょう。駿府城を出発し、運命の日に至る「今川義元の一週間」をたどります。

注目したいのが1日あたりの行軍距離。

岡崎城に至る5月16日までの5日間は、連日20～38kmの距離を急ぎ足で進んでいます。しかし、松平元康(家康)が所領する三河あたりから変化、本拠地の岡崎城には数千人の守備隊を残して行軍も緩やかになります。これは三河勢の動きを警戒してのことだと推測されます。極めつけは杏掛城に入つた5月18日の軍議で、松平元康(家康)以下三河勢に対して敵中に孤立する大高城へ即日のうちに兵糧搬入せよと命じています。翌19日の丸根・鷲津の両砦を総攻撃するのであれば、なにもこのタイミングで行う必要性があったのか？義元は慎重を期して家康を試していたのではないかと考えられます。



三河 岡崎まで、スタートダッシュの5日間、からのスロウダウン！	
5月12日	総勢25,000の兵団で尾張へ向けて駿府(静岡)を出発。距離:22～23km。藤枝に宿営。
5月13日	遠江路を西進。距離:32～34km。忠臣 朝比奈泰朝の居城、掛川城に到着。
5月14日	掛川を発する。距離:27～30km。引馬(浜松)に到着。
5月15日	引馬(浜松)を発する。距離:35～38km。三河に入る。三河吉田に宿営。
5月16日	三河吉田を出発。距離:約30km。松平の本拠である岡崎城に入城。この時、義元は三河松平勢抑止のため、数千の守備兵を残す。
5月17日	岡崎城を出発。距離:15km。地鯉船(知立)城に到着。ここにも守備兵を数千残す。
5月18日	拠点を杏掛城に移す。距離:約8km。丸根、鷲津砦に包囲される大高城(鶴殿長照が守備)へ、兵糧搬入という危険な役割を松平(三河)勢に指示。松平を試したか？松平元康、夕刻を待たず進発。夜半、大高城に入城を果たした。

そして、迎えた義元運命の日!!

5月19日 未明(午前3時頃)	松平信康率いる三河勢、数千が織田方の丸根砦を攻撃開始。
同時刻	朝比奈泰朝・井伊直盛の数千が織田方の鷲津砦を攻撃。
午前10:00頃	鷲津砦 陥落。 鷲津砦を守る織田秀敏、飯尾定宗は討死。息子の飯尾尚清は敗走、後信長に合流。
午前10:30頃	丸根砦 陥落。守備する猛将 佐久間盛重を討ちとった松平勢が城代の鶴殿長照に代わり、大高城の守備に就く。
午前11時過ぎ	杏掛城を出た今川本隊が「桶狭間山」に到着。陣を構える。

※佐々正次と千秋孝忠の無謀な突撃については謎とされています。しかし、彼らの動きは信長は大きく評価して、その亡骸を節孝本社近くの「跡塚」という場所に葬ったと伝えられています。

義元の陣取りは、間違っていないかった!



信長は奇襲なんかしていない!

11時頃、中島砦に到着した信長は集結した兵(2,000弱)をまとめて、決戦の覚悟を決めます。

今川軍25,000のうち、三河への警戒、鳴海・大高・杏掛城、および前線への配備に拡散していたため、本陣にいたのはおそらく6,000ほどでした。信長が目と鼻の先(直線約3km)にいる敵陣へ進軍を始めた正午頃、突然の豪雨に見舞われます。電(ひょう)を伴い視界を遮る嵐が戦場を吹き荒れ、すべての音がきこえなくなります。これが幸いして織田軍が今川勢に気づかれることなく桶狭間山のふもとまで追った頃、嘘のように風雨がやむのでした。それを合図に信長軍は一気に攻め上り、戦闘はいよいよクライマックスへ。

突然現れた敵軍に、当主を守護する義元の旗本300余り。奮戦むなしく、とうとう午後2時頃、義元は討ちとられてしまいます。

そうす。信長軍2,000は中島砦からまっすぐに、「奇襲」ではなく死闘を挑んでいます。兵が分散され、手薄になっているとはいえ本陣の守備は6,000。信長の決断の大胆さがうかがえます。その決断を豪雨が後押ししたという事実は、歴史のイタズラしか思えません。

清州城から桶狭間山までの距離は、約26km。夜明けとともに出撃し午後1時頃から始まった戦闘は実質2時間ほどで終わりました。戦死者数は、今川方2,750余名、織田方950余名。戦場あととは今は住宅地、その一角にある「七つ塚」や豊明市にある「戦入塚(千人塚とも)」に彼らは葬られています。

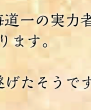
義元最期とそれから!

敗者となった今川義元、彼はむむむと討ち取られたわけではありません。攻めかけてきた織田の服部一忠(小平太)に槍をつつけられたものの、反撃。膝を切りつけてこれを撃退。しかし、続いて助太刀してきた毛利良勝(新介)に討たれました。首を切られる寸前に義元は、毛利の指をガブリと食いこぎったそうです。相当の強者だったんですね。義元的首は、鳴海城の岡部元信が城の明け渡しを条件に受け取り、駿府へ戻されました。一方、大高城を守備していた松平元康(家康)は駿府には戻らず、自領の岡崎城に入ります。鳴海城、大高城を手に入れた信長の長いながい1日はこうして終わりました。

織田信長27歳、松平元康(徳川家康)18歳の初夏でした。名門に生まれたながらも波乱を乗り越え、海道一の実力者と呼ばれた彼は決して愚将なんかじゃなかった。そんな彼の死が、若き織田信長の飛躍、そして徳川家康の独立へとつながります。むかに社のある名古屋市緑区大高の地、ここは新たな時代の扉がひらかれた、ロマンあふれる場所だったんですね。

因みに義元的首をあげた織田家臣の毛利良勝、「天下布武」を目前にした22年後の「本能寺の変」では、信長と共に最期を遂げたそうです。こんなエピソードも戦国ドラマを感じますね。

今回も、地元 桶狭間地区の位置関係把握のため、WEBサイト「戦国時代勢力図と各大名の動向」管理者の「ひろゆき」様のご協力で、画像および一部資料を使わせていただきました。ありがとうございました。





行楽の秋

久々に動物施設を満喫!

「最近動物園行ってないなあ。」という方結構いらっしゃるのではないのでしょうか。でも動物園には、スマホの画面越しでは味わえない動物たちの息づかいや自然の香り、そして訪れる人々の笑顔などなど、五感を通して「生きている」ということが感じられ、心が躍るようなわくわく感もあふれています。

行楽の秋、一緒に楽しいひとときを共にしたいご家族や仲間と是非行ってみてくださいね。

東山動物園 (名古屋市)

晩秋の東山動物園は、どこか静けさをまとった特別な空気に包まれます。木々が赤や黄に染まり、落ち葉が舞う園内を歩けば、動物たちの息づかいがより鮮明に感じられるような気がしてきます。夏の喧騒が落ち着いたこの季節は、動物たちも穏やかに過ごしていて、ゆっくりと観察するのにぴったり。「動物園ってこんなに静かで、心地よかったんだ」と、思わず深呼吸したくなるような時間が流れていきます。

人気の動物たち

コアラ…東山のシンボルの存在。ユーカリをむしやむし食べる姿が癒し系。[13時の食事タイムが狙い目]

レッサーパンダ…空中通路をスイスイ歩く姿が可愛すぎる。「朝早い時間が活発ですすめ」

ゴリラ…「イケナゴリラ」「ジャバーニ」が話題。「ガラス越しでも目がすごい…」

アジアゾウ…赤ちゃんゾウ「うらら」が人気。「水浴びする姿にほっこり」

キリン…高いデッキから視線が合う。「秋の空とキリンのシルエットが絵になる」

ツシマヤマネコ…日本固有の絶滅危惧種。「静かに観察する時間が尊い」

ついでに立ち寄りたい食事スポット…驚きと美味しさがいっぱいのフードコート「ZOASIS (ゾアシス)」、ソフトクリームがおいしい売店、持ち込みOKの「芝生広場」でのんびりランチもおすすめ。

休 園 日：月曜日、12/29～1/1
入 園 料 金：大人 (高校生以上) 500円、中学生以下は無料
開 園 時 間：9:00～16:50 (入園券の発売は16:30まで)

提供:名古屋市東山動物園

日本モンキーセンター (犬山市)

公益財団法人日本モンキーセンターが運営する世界屈指のサル類動物園で、霊長類の飼育展示種数は50種以上約700頭と世界最多!! 自然に近い環境での「放し飼いや比較的自由に動き回れる展示が多く、お猿さん本来(であろう)様子を観察できます。

「推し」は「ニシゴリラのタロウさん」。例年「タロウさんを囲む会」などのイベントが開かれ注目を集めています。大型類人猿(ゴリラ)は動きや表情が分かりやすく力強さや威厳もある反面、外に繊細な面も垣間見えること何となく親近感が増し人気を博しているのかもしれない。

「Waoランド」に展示されている「ワオキツネザル」も見ただけでわくわく動きが軽快で愛嬌もあり、子供に人気です。群れが放し飼いの状態で走り回る様子はみていて飽きません。

「ビッググループ」には「うんでい」などの大きな構造体があり、「フクロテナガザル」が手足を大きく振ってダイナミックに移動する様子や、真下から吊り橋を渡るところが見られます。テナガザルの仲間は大きな声で吠えることがありますが、運が良ければ生歌(唄えるだけ?)が聴けます。

併設する「日本モンキーパーク」は小さな子供向けのアトラクションが多数ありセンターとセットで1日思いっきり楽しめます。

営業時間：10:00～16:00 (11月～2月)
入 園 料：大人 (高校生以上) 1,200円
 小中学生500円 幼児 (3歳以上) 300円

提供:日本モンキーセンター

到津の森公園 (北九州市)

福岡県北九州市小倉北区に位置する「到津の森公園」は、動物園・自然公園・遊園地が一体となった都市型の自然環境教育施設です。かつて遊園地だった名残を残しつつ、現在は約100種500頭羽の動物たちが暮らす、街中のオアシスとして親しまれています。園内は、動物園だけでなく公園や遊園地もあり、家族連れにも人気です。

檻を極力排した展示方法により、動物たちの自然な姿をのびのびと楽しめるのが特徴で、猿山は距離が近く迫力満点ですが、動物の個体数が少なめなので、隠れていたら見られないこともあるのでご注意ください。ライオンやトラなど人気の動物は1匹が多く、高齢なのですが、ゆったりとした雰囲気の中で観察できます。

夏場は山の上ということもあり日差しを強く感じるため、日焼け対策は忘れずに。入場料もリーズナブルで、気軽に訪れることができます。

〒803-0845 福岡県北九州市小倉北区上到津4丁目1-8
<https://www.itozu-zoo.jp/>

提供:到津の森公園

豊橋総合動植物公園 通称「のんほいパーク」

晩秋の風が心地よく頬を撫でる頃、豊橋市の「のんほいパーク (豊橋総合動植物公園)」は、静かに感動に満ちた場所になります。木々が赤や黄に染まり、園内を歩くと季節の移りを感じられるこの時期。特に動物園エリアでは、生息地の環境や自然な姿を身近に感じることができるよう造られており、澄んだ空気の中でのびのびと過ごす動物たちの姿が、より生き生きと映ります。

「動物たちの息づかいが聞こえるような距離感」「自然の中で動物と向き合える贅沢」「エサやり体験やふれあいができる『なかよし牧場エリア』は動物と仲良しに」「そんな声が多く寄せられるのも、晩秋ののんほいパークならではの魅力です。

人気の動物たち

ホッキョクグマ (極地動物館)…全国で初めて「シロクマのダイブ」を展示したのがのんほいパーク。広い水槽で泳ぐ姿は、水しぶきもキラキラして幻想的で、寒い季節に映える評判です。

アザラシ…水槽をスイスイ泳ぐ姿が、まるで水中パレエ。子どもが夢中になってしまう可愛さです。

ライオン (ライオンウォーク)…頭上を歩く姿が見られる国内でも珍しい展示で迫力があります。2025年8月に赤ちゃんが3頭生まれ、そろそろ親子の散歩が見えるかも。

レッサーパンダ…立ち上がる姿が「着るみ」みたいで、思わず笑ってしまう可愛さ。木登りしてる姿は元気がいっぱい、見てるこっちまで元気をもらえます。

人気スポット…広大な草原にキリンやシマウマがのびのび暮らす「アフリカエリア」、夜行性の動物たちを静かに観察できる「夜行性動物館」、ついでに立ち寄りたい食事スポット…動物を眺めながら食事ができる「ステラカフェ (園内展望塔)」、再入園OKなのでお弁当を持ち込んでランチできる「芝生広場」。

入 園 料 金：大人 600円、小・中学生 100円、未就学児 無料
開 園 時 間：9:00～16:30 (最終入館：16:00)
休 園 日：毎週月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌平日)

提供:豊橋総合動植物公園

淡路ファームパーク イングランドの丘

イギリスの湖水地方をテーマにした農業公園。動物が暮らすグリーンヒルエリアと湖が広がるイングランドエリアに分かれており、無料シャトルバスで自由に行き来することが出来ます。広大な園内では、小・中動物を中心に約30種類の動物が暮らしています。

<グリーンヒルエリア>
 コアラやうさぎ、ブレイリードッグなど、可愛らしい小動物たちが見られるエリアです。実は、コアラには南方系・北方系と種類があり、こちらの施設では日本唯一、両方のコアラを見ることができます。

<イングランドエリア>
 放牧場があり、つじたちが目の前に! のびのびと生活する姿はとても可愛いです。こちらのエリアでは、お花畑や体験が出来、レストランや遊具など、動物を観賞する以外にも楽しめる施設がたくさんあります。お腹が空いたらレストランへ。淡路牛や淡路島の玉ねぎを使用したハンバーガー、しらす丼など、地元の食材を使用したグルメにも注目! ゆったり観望したい方にも、アクティブに遊びたいお子さんにもきっと楽しんでいただける場所です。

〒656-0443 兵庫県南あわじ市八木養宣1401番地
<https://www.england-hill.com/>

提供:淡路ファームパーク

秋吉台自然動物公園サファリランド (山口県美祿市)

は、広大な自然の中で動物たちと間近にふれあえる体験型の動物園です。動物との距離が近く、ふれあい体験が充実した人気スポットです。

一番の目玉は「餌やりバス」(¥1,100)。動物ごとに異なる餌をあげられ、朝一番の便で食いつきの迫力が格別! ガイドさんの説明も個性豊かで、何度来っても楽しめます。

園内では、バスに乗らなくても「もくもくタイム」に参加すれば、誰でも餌やり体験が可能。ホワットイガーや春のベージュラッシュも楽しめるので、赤ちゃん動物に出会えるチャンスも! 自家用車での見学も可能で、ライオンの赤ちゃんとのふれあいや記念撮影ができる時期もあります。レッサーパンダを眺めながら食事ができるレストランや、お土産コーナーも充実。ポニー乗馬や遊園地もあり、家族連れにもおすすめです。

〒754-0302 山口県美祿市美東町1212
<https://www.safariland.jp/>

提供:秋吉台自然動物公園

周南市立徳山動物園 (山口県)

山口県周南市にある「周南市立徳山動物園」は、1960年に開園した歴史ある動物園で、現在もリニューアルを進めながら市民に親しまれています。市街地に位置しておりアクセスも良く、家族連れや学校行事などで多くの人が訪れる人気スポットです。規模としては小さいですが、ぎゅっと魅力が詰まった動物園です。

ふれあいゾーンでは、(なぜかミニではない巨大な)ミニゴ、ヤギ、ヒツジ、ポニーなどと触れ合うことができます。特にスリランカゾウの園舎がおすすめです。室内ではゾウより高い場所から観察することができ、屋外では水遊びやご飯を食べたりする自然体のゾウを観察することができます。

猿山があったときは、猿たちへの餌やりが一番お勧めのゾーンだったのですが、現在リニューアル工事中なので完成するのが楽しみです。

また、全国的に話題となった「悩めるマレーグマ・ツヨシ」がユニークな仕事で来園者をむかえてくれますよ。

〒745-0851 山口県周南市徳山5846
<https://tokuyama-zoo.jp/>

提供:周南市立徳山動物園

姫路市立動物園 (兵庫県)

兵庫県姫路市にある「姫路市立動物園」は、世界文化遺産・姫路城のすぐ隣に位置し、70年以上にわたり地域の人々に親しまれてきました。観光のついでに立ち寄れるアクセス抜群の動物園で、姫路城のすぐ隣にあり、歩いて行ける距離なので嬉しいポイント!

園内にはホッキョクグマやアシカなど、水辺の動物もたくさんいて、「ここって水族館?」と思うほど種類が豊富。動物好きにはたまらないインナップです。

そして、なんといっても注目目は「ササラン」(サラン)! 「見る人を幸せにする」と言われる未確認生物で、国内でも珍しい展示。展示時間が短いので、見られたらラッキーです!

ちょっと変わった動物園をみたい方、姫路観光のついでにぜひ立ち寄ってみてください!

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68
<https://www.city.himeji.lg.jp/dobuten/>

提供:姫路市立動物園

長崎バイオパーク (長崎県)

長崎県西海市にある「長崎バイオパーク」は、「ZOOっと近くにふれあえる」コンセプトにした、動物との距離が驚くほど近い体験型の動物園です。約30万平方メートルの広大な敷地に、約200種の動物と1,000種以上の植物が共生しており、「人と自然の共生」をテーマにした展示が魅力です。

来園者は、フラミンゴ、カピババ、リスザル、キツネザル、カンガルーなど様々な動物とふれあうことができます。中でも、リスザル/キツネザルゾーンでは、餌を持ってくる人がかけてどこからともなくリスザルたちが現れ、手に乗ってきてエサを催促してきたり、肩や頭にも乗ってきたりします。手のひらの感触など、一生忘れることのない感覚を体験できるのもこの動物園ならでは。色々なところでご飯を食べる姿に心を奪われること間違いありません。まるで同じ空間で暮らしているような感覚で、動物たちの居住区に入り込んでしまったか錯覚してしまうほど。檻や柵がほとんどなく、木や石などありのままの自然な感覚で、展示しています。

また、動物の怖がる習性などを利用して、決められた場所から逃げないよう、あらゆる工夫がされているところも魅力の一つです。動物園の枠を超えた「ふれあいの楽園」。とっても広いので、軽装で歩きやすい靴で行くことをお勧めします。

〒851-3302 長崎県西海市西彼町中山郷2291-1
<https://www.biopark.co.jp/>

提供:長崎バイオパーク

最近スマホが遠ざかる？ 「見えにくさ」を見逃さない！



「最近、文字が…おかしい？」と感じた皆さま、
「スマホの文字が小さくなった気がする」「資料の数字が一瞬わからない」それは、印刷が悪いのでも、光の加減でもありません。
ズバリ、老眼のはじまりかもしれません。今回のテーマは、誰にでもやってくる『老眼』です。

【老眼のサイン】

老眼の初期サインは「40cmの視界」にあります。

- ・書類が読みにくい
- ・小さなラベルを“腕を伸ばして”読もうとする
- ・スマホの文字がぼやける
- ・ピントを合わせるのに“ワンテンポ遅れる”

この「ほんのちょっとした違和感」こそ、老眼の入り口です。そして辛いのは、目が無理にピントを合わせようとして疲れ、「かすみ目」や「目の奥の痛み」に繋がっていくことです。



老眼と遠視の違い

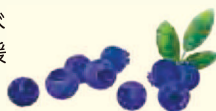
	老 眼	遠 視
原因	加齢でレンズ(水晶体)が硬くなり、 ピント調整能力が低下すること	もともと、ピントの合う位置が網膜の後ろにある 目の構造上の特性
いつから?	早ければ40代前半頃から	生まれつき (若い頃は気づかないことも)
特徴	近くが見づらくなる	近くが見づらいが、遠くもぼやけることあり

【老眼と遠視】

ピントが合う位置が、どんどん遠ざかっていく…これは遠視？
これもよくある質問です。そもそも老眼と遠視の違いは何でしょう。

【老眼は予防できるのか】

老眼は“加齢現象”です。ブルーベリーをたくさん食べても、完全に防ぐことはできません。しかし、進行を緩やかにするために、できることはあります。



今からできる老眼ケア

- ・長時間のスマホ、PC作業は60分に1回は休憩を！
- ・遠くを見る“目のストレッチ”を意識的に行う
- ・睡眠、栄養、水分をしっかりとる
- ・紫外線対策(サングラスなど)で水晶体を守る

【老眼鏡は「見え方のチューニングツール」最近の老眼鏡事情】

老眼⇒“老けた”、老眼鏡⇒“恥ずかしい”、と思っていませんか？今や、老眼鏡は「視界を快適にする道具」として、デザインも機能も進化しています。

- ・スーツにも似合うオシャレ系
- ・ブルーライトカット搭載のPC向け
- ・進化した遠近両用メガネ

「あれ、老眼かも？」と感じたことがある方は、是非、目の疲れが酷くなる前に『見え方のチューニングツール』を試してみましょう。



遠近両用メガネの(ざっくりとした)仕組み

- ・レンズの上部:遠くを見るため
 - ・レンズの下部:近くを見るため
 - ・真ん中:中距離(パソコン作業など)
- 視線を少しずつ使い分けることで、1本のメガネで対応できるのが魅力です。

<メリット>

- ・メガネをかけ外しする手間がない
- ・デザインが豊富でオシャレなブランドも多数あり
- ・慣れれば手放せなくなる便利さ

<デメリット>

- ・最初は「視線の切り替え」に違和感あり → 約1~2週間で慣れる人が多い
- ・安価なレンズはゆがみが強い → レンズの質はお値段に比例

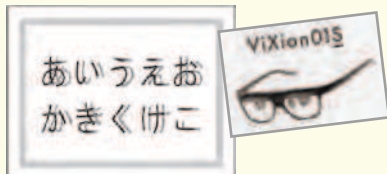
技術の進化により、選択肢も増えてきました。

「中近」「近々」メガネ

- ・中近:室内・パソコン作業に特化
- ・近々:読書・手元作業用

自動ピント調節メガネ

- ・レンズ内に液晶や可変素材を内蔵し、目の動きや距離を検知して**瞬時にピントを調整**
- ・老眼鏡や遠近両用メガネのように“視線をずらす”必要なし
- ・センサー、AI、視線追跡などの技術が活用されている



日本では、ViXion01Sというモデル(上)が販売中。<https://vixion.jp/>

遠近両用コンタクトレンズ



- ・ソフト・ハード両方あり
- ・細かい度数設定が可能になり、フィット率が向上
- ・ただし、やや高価で慣れるまでに個人差があるようです

老眼は、誰にでもやってくる自然な身体の変化ですが、「見えること」の価値を見直すタイミングです。
日々を快適に過ごすため、どう対応するかが大切です。

「ViXion01S」とその他の製品の比較

項 目	ViXion01S	一般的な眼鏡	老眼鏡	拡大鏡(ルーペ)
ピント調整	自動で調節	決まった距離 決まった度数	手元のみ	手元のみ
軽さ	33g (アウター フレームなし)	約35g	約20g	約20~500g
使えるシーン	生活全般 (車の運転 などは除く)	生活全般	近距離の作業 など	細かい作業 など
製品分類	ウェアラブル デバイス	一般医療機器	一般医療機器	雑品

秋が深まり、自然の恵みや人々の手によって育まれた季節の味覚を、皆さんも楽しんでますか？

やがて「立冬」が近づき、朝晩の空気には冬の気配が漂い始め、私たちの暮らしにもいよいよ「冬支度」の季節が訪れます。「冬支度」とは、寒さに備えて暮らしを整えることです。具体的には、衣類や住まい、食生活を見直すだけでなく、自然の移ろいに寄り添い、心身を整える日本ならではの文化です。



自然界では、動物たちが冬眠に備えて栄養を蓄えたり、植物が葉を落としてエネルギーを節約したりと、命を守るための支度が始まっています。人間も、自然のリズムに合わせて暮らしを整えることで、季節の変化を穏やかに受け入れてきました。

「冬支度」の歴史は古く、平安時代には暦の上で「立冬」が冬の始まりとされ、「衣替え」や「火入れ」が行われていました。江戸時代には「煤払い(すすはらい)」や「餅つき」などが年末の行事として定着し、「歳神様」を迎える準備にもなりました。現代では、暖房器具の点検や加湿器の設置、大掃除などが主流となり、快適性と効率を重視した「冬支度」へと変化しています。

さらに、地域によってその内容も異なります。雪の多い地方では、庭木の雪折れを防ぐための「雪吊り」や「藪巻き」、家屋を風雪から守るための「雪囲い」や除雪道具の準備が欠かせず、越冬野菜の買い込みなどが行われます。山間部など寒さの厳しい地域では、薪の準備や断熱材の補強が行われています。

こうした地域性や時代背景を踏まえながら、「おすすめしたい冬支度」として昔ながらの知恵によるものと、現代のものとを以下にご紹介します。

おすすめしたい「冬支度」の例 ～受け継がれる文化と現代の工夫を活かして～

<p>【衣類】</p> <p>伝統 着物・羽織・半纏・どてら…保温性と美意識を兼ね備えた和の装い 虫干し(衣類の陰干し)…防虫・湿気対策。衣類を長持ちさせる知恵</p> <p>現代 断捨離・衣類の整理…心の整理にもつながるミニマルな暮らし 电热ベスト・USB加熱グッズ…外出時も快適。テクノロジーで防寒革命 ヒートテック・機能性インナー</p>	
<p>【食】</p> <p>伝統 漬物(たくあん・白菜漬け)…保存食としての知恵と地域の味 干し柿・干し芋…自然の甘みと栄養。冬のおやつに最適</p> <p>現代 常備菜・冷凍保存…忙しい現代人の時短と栄養管理に便利 お取り寄せ鍋セット…手軽に本格的な味を楽しめる冬の贅沢</p>	

「冬支度」は、寒さへの備えだけでなく、自然と向き合い、年の節目を整える大切な文化です。自然界の営みに学び、地域の知恵を活かしながら、昔ながらの工夫と現代の技術を取り入れることで、より豊かで心地よい冬を迎えることができます。

今年の冬は、ほんの少しだけ、季節に寄り添ってみませんか？きっと、心も体もほっとする時間が訪れます。

<p>【住まい】</p> <p>伝統 こたつ(ほりこたつ)・火鉢・囲炉裏 …家族団らんの象徴。炎の癒しと温もり。 ※こたつの脚が乗り固定できるような口の字の 木製ベンチを置くと、掘りこたつ風になりますよ。 障子・襖の張り替え…清浄な空間で新年を迎える準備</p>	
<p>現代 湯たんぽ(充電式・電子レンジ対応)…エコで安全。乾燥しない暖房として人気 暖房器具の点検・掃除…火災予防と快適な室内環境づくり 断熱カーテン・窓の目張り…光熱費の節約と防寒対策に効果的 床につく位の長めのカーテン</p>	
<p>【年末の準備】</p> <p>伝統 新しい服や靴の準備…歳神様を迎えるにあたっての礼儀として、清潔で新しいものを身につける。また新年のスタートに相応しい縁起がよい</p> <p>伝統・現代 大掃除…一年の穢れを祓い、心身を清める儀式</p>	

鈴秀読書の館「クリスマス・プレゼント」

ジェフリー・ディーヴァー 著
池田真紀子 他 訳 文春文庫

今回紹介するのは、アメリカのベストセラー作家であり、「どんでん返し」の魔術師」と称されるディーヴァーの初短編集です。著者の人気作品といえは世界各国で読まれている『ボーン・コレクター』を始めとした長編小説ですが、文章量が少ない短編でも読者を操る技巧は遺憾なく発揮されており、ギョツと凝縮されたものを楽しむことができます。

本作は16の短編からなる作品集です。一作品あたり30〜40ページ程度でまとめられており、手軽に読むことができます。その手軽さに反し内容は濃厚で、短い読書時間でも十分な満足感が得られるはず。表紙やタイトルから、心温まるようなものが頭に思い浮かびますが、実際はブラックな結末を迎える作品が多めです。というのも、邦題は「Wised」。タイトルどおり、「ひねり」の効いた作品ばかりが収録されています。それでも、決して読後感が悪いというわけではなく、妙な痛快さがあるのです。読んでいてハラハラするような登場人物同士の騙し合いは、本作の見どころのひとつで目が離せません。また、まえがきも是非読んでいただきたい。執筆時における長編と短編との違いなども書かれており、興味深い内容となっています。締めくくりに「世の中のもの」とは、すべてが見た目どおりであるとはかぎらない」という言葉も本作の説明としてこれ以上ないくらいにぴったり。その言葉を意識



「クリスマス・プレゼント」
ジェフリー・ディーヴァー 著

していても、著者に巧みに誘導され、読者は思わず見た目どおりに受け取ってしまうのです。そして読後の「やられた」感がもう最高。

表題作は、冒頭で触れた長編小説のシリーズでお馴染みのキャラクターたちが登場する書き下ろし作品。もちろん、シリーズを読んでいなくても問題ありません。クリスマスイブの日に、ある女性が元警察官の主人公に行方不明の母親捜索を依頼するところから始まります。それを受け、主人公たちは行方不明者を見つけるために奔走する、といった内容です。著者の作品は、文章全体のスピード感や高みまで運ばれて一気に落とされる感じなどから「ジェットコースター・ミステリー」と言われており、この表題作も例に漏れません。ルールに沿ってまっすぐ進んでいたかと思えば、急旋回も落下もあどろのストーリー展開。読み終えるまでどこに着地するのかわからない緊張感は短編ならではの楽しみです。また、長編と違い、どの作品も残酷な描写はほとんどないため、著者の作品を初めて読むという人にもおすすめです。

難点を挙げるならば、作品ごとに訳者が異なるということ。一冊をとおして読むとどうしても多少の読みにくさを感じてしまいます。また、どの作品も素晴らしいけれど、何作も読み続けると「ひねり」の連続でお腹いっぱいになってしまいかも。本作に関しては無理に一気に読みすぎるよりも少しずつ読み進める方が新鮮な気持ちでより楽しむことができるでしょう。

つい唸ってしまいうほど色々なパターンの「ひねり」が盛り込まれている本作。季節感のある作品は表題作くらいですが、これを機に今年のクリスマスシーズンはこの傑作集を自分への「プレゼント」として読んでみてはどうでしょうか。

奥野安里沙

第1製造課の

大林 駿太さんへ



磨棒製造の作業員として10年ほど現場で過ごした後、工程業務を担当。事務所での仕事に慣れはじめた頃、ピチピチの新入社員として大林君はやってきました。5つも年下の新人の割には、いやに貫禄ある(ふてぶてしい)風貌が印象的でした。ある日の職場、「筋肉ばなし」で盛り上がっていた時、いきなり話に割り込んできたかと思うと得意気に上着を脱ごうとする彼にキケンな雰囲気を感じたのは私だけではないでしょう。なんとなく「いじり甲斐のあるヤツ」と思ったものの、当時は部署が違ったことや自身も初めての仕事に追われていたので、あまり構ってやることができませんでした。



時を経て、職場異動となった大林君。気が付けば隣の席に座っています。同じ部署なので、当然ながら仕事の絡みは毎日のこと。私の罵声を浴びながらも日々頑張ってくれています。時にはくだらない話に、時には営業部の〇手君とのプライベートな飲み会につき合ってくれてありがとう。けっこうヘマしたり、手を煩わせる存在だけど、私にとってはかわいい後輩です。お互いにこれからも、いろんな経験をしながら、仕事だけでなくプライベートでも『華』を咲かせていきましょう!

第1製造課 上杉 侑大

技術部 生産技術課の

菅沼 模介さんへ



CHの生産工程を担当している私の最大の悩みといえば、生産ラインの故障です。重たい鉄の素材を移動したり、加工したりする機械たちは当然ながら頑丈ですが、定められた温度や速度管理、人間による微妙な調整など、繊細な作業に対応するため、日常的に何かしらのトラブルが発生します。営業(お客さん)から指示された“納期”のプレッシャーで、気弱な私のハートがつぶれそうになることもしばしばです。

でも大丈夫。私には絶対的に頼りになる人物がいるのです。それは技術部の菅沼さん。トラブルの原因を迅速、かつ正確に特定し、最善・最短で修理対応をしてくれる達人です。だから、私は納期遅れを最小に抑えられるよう工程調整に集中できます。それに加えて菅沼さんは、設備・機械の知識が乏しい私にさえ理解できるように原因と対応についてわかりやすく説明してくれるのです。おかげで作業の目処を立てたり、関係各署に状況を伝えて協力を仰いだりすることができます。感謝、感謝です。



これからも、きっと(・・・いや間違いなく)設備・機械のトラブルは発生します。ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしく願います。そして、折を見て、また遊びに行きましょう。(焼肉もね)

第1製造課 大林 駿太

第2製造課の

吉川 友人さんへ



私の仕事は、本社工場にあるさまざまな機械や設備、建屋や装置で発生するトラブルを解消する、いわゆる「保全業務」です。

機械構造や電気系統について、まだまだ未熟ではありますが、自分なりに持っている専門知識を駆使して、現場作業者のみなさんのストレスを少しでも軽減できるよう努めています。そんな私が、入社してまだ1年も経たない3年ほど前のこと、異形磨棒鋼のD6引抜きラインで電気回路の調査を任せられました。誤ってブレーカーを落としてしまい、生産ラインを1時間ほど停止させてしまうという大失態をやらかしてしまいました。冷や汗をかきながら復旧作業に全力を注ぎつつ、「これは間違いなく怒られる・・・」と肩をすくめていた時、「仕方ないよ、1時間ぐらい。頑張れば取り戻せるから、気にすんなって!」その声をかけてくれたのが、吉川さん。あの一言にどれほど救われたことか。これからもぜひ、そのやさしい対応をよろしくお願いします。



追伸...そんな吉川さんですが、一言だけ文句(?)を言わせてください。1991年生まれの私、現在32歳。つまり自分より年下だと思っていたら、まさかの10年上だなんて! その見た目でダメです。詐欺です。もう少し、老けてください。

技術部 生産技術課 菅沼 模介

GLのひとり言

三重製造課

伊藤 大悟

「伊藤家 剣道部はじめました!」

とりたてて趣味と呼べるようなものがなかった私ですが、今年の6月から新しく習い事を始めました。それは「剣道」です。きっかけは、「忍者になりたい!」と当時小学2年だった長男が突然宣言したこと。それではと道場に入門させ、家族で稽古や試合に付き添ううちに、技を決めて一本を取る格好よさ、一生懸命稽古に励む姿に惹かれて小学1年の次男と一緒に、私自身も入団していました。稽古で、まず最初に学ぶのは「礼」です。道場への入退場、先生や稽古の相手、さらには防具や道具など、あらゆるものへの感謝を徹底して教えられます。振り返れば「普段の生活で関わる人やモノに対して、自分自身は感謝の気持ちで接しきれていたのか」という問いに、大人ながらも未熟さを実感しました。



そしていよいよ実際の稽古、いざ竹刀を握ってみると動きが全くチグハグ。手と足を同時に動かし、発声とともに狙った場所に的確に打ち込む。見ている時は簡単そうだった素振り、面打ち、そしてすり足の動作はシンプルだからこそ難しい。3か月経った今でも「納得のいく一本」は、なかなか…。その奥深さを痛感しています。



40歳を過ぎた挑戦、覚悟はしていたものの身体への負担は激烈です。最初の1か月は稽古のたびに足の裏と左手の皮がめくれ上がり、当然のように毎回、全身筋肉痛。最近は防具を付けての稽古も始まりましたが、面をつけると想像以上に呼吸がしにくく、酸欠状態。激しい動きに重い足はもつれ、さらには竹刀を握る手もしびれて途中でリタイアすることも度々です。1週間の休養で回復させて、また稽古に臨む。この繰り返しです。納得できない悔しさに「次こそは」という気持ちで立ち上がり、最後までやり遂げたときの充実感は何にもものにも代えがたく、自分の成長を感じる瞬間です。



年齢を言い訳にして逃げないで、勇気をもって挑戦して良かったなと、心から思っています。決してカッコよくないけれど、父親の泥臭くても、諦めない姿は息子たちに見せられているはず。いつかは同じ剣友として、そして父親として彼らにアドバイスする日が楽しみです。目下の目標は「段位取得」。週末は息子たちと一緒に稽古に励みます。

2025年度が終わり、新たな期が始まりました。昨年の秋号で掲載した、社員アンケートからおおよそ1年間、「エンゲージメント向上」のため様々な取り組みをしてきました。「エンゲージメント」とは、社員の皆さんが会社に愛着を持ち、主体的に貢献しようとする姿勢のこと。働きやすい環境や働きがいのある会社にする事でエンゲージメントを向上させ、生産性を上げて社会へ貢献することが、会社としての最終目的です。

今号では、1年間のまとめとして、再度皆さんにご回答いただいたアンケートの結果とともに活動内容についてご報告します。

アンケート結果

昨年同様、1. 安全・健康、2. 業務・組織管理、3. 人材育成、4. 職場環境、5. 評価・処遇の5項目、計20問の質問に回答いただきました。今回もおおよそ7割と多くの方にご協力いただきました。本当にありがとうございます。果たして、結果はいかに…！

残念ながら、点数としてはほぼ現状維持という結果になりました。調査時点で改善が終わっていないものや、検討はしたものの実施できなかったことなど、様々ありますが、何よりも皆さんへのアピール不足だと痛感しました。

一方で、「1年前と比較して会社は良くなったと思いますか。」という質問に対しては、「良くなったと思う」が60%におよびました。数値として結果は出なかったものの、1年間という短い期間で変化を感じていただけた方が多くいたことに安心しました。

皆さんからいただいた良くなった点やもっとこうなるといいなというご意見をご紹介します。

良くなった点
福利厚生が充実して嬉しい
働きやすさが向上したように思う
情報発信が以前より増えた

改善点
現場の暑さをもう少しなんとか…
情報共有がまだ足りないと思う
色んな社員の声がわかるようコミュニケーションが増えると良いのでは



今期の活動内容

まだまだみなさんには伝えられていない部分もありましたが、今期で活動してきた内容をまとめてご紹介します。

・職能資格基準表の改定

以前も鈴秀四季でご紹介した評価制度、皆さんは認識されているでしょうか。アンケート結果でもまだまだ浸透しているとはいえないように思いました。自身がどのように評価されているか、求められる能力が何なのかわからなければ、適切な評価がされているのかと疑問に思う方がいてもおかしくありません。

この状況を改善するため、まずは「職能資格基準表」の見直しを行いました。「職能資格基準表」とは、各職種、各職級に求められる能力を一覧にした表です。実際に見たことのある方は、あまり多くないのではないのでしょうか。今回、こちらの表の内容を見直し、よりわかりやすく改定を行いました。そしてその内容を評価する側、評価される側双方に共有し、同じ認識を持つことを目的としています。

・情報発信の強化

こちらはまだまだ道半ばですが、会社に関する情報、お願い事、イベントなどのお知らせを漏れなくお伝えできるよう、発信を増やしているところです。SmartHRでのお知らせ以外にも、日常のちょっとした出来事などを配信する配信用メールや、掲示板でもチラシや案内を掲示しています。また、インスタグラムでは皆さんからご提供いただいた写真やおススメスポット、各部の仕事の紹介など、社員の皆さんにも見ていただきたい内容がたくさんあります。定期的に情報が更新されていますので、お見逃しなく！

・福利厚生をもっと手軽に

これまでも福利厚生の充実のため、色々なものを検討してきましたが、幅広く、そして手軽に利用していただけたという点では課題がありました。総務を通して利用するものがほとんどであるため、どうしても一部の方に偏ってしまっていました。もっと多くの方に手軽に利用していただくため、各自で申込・利用ができる「**ベネフィットステーション**」を導入。結果、4～7月で**8割強**の方にご利用いただけています。ぜひ自分に合ったオトクを見つけて活用いただけたら嬉しいです。総務からもお知らせをしていきます。

また、名古屋港水族館の申し込みも紙からSmartHRでの申請に変更したことで、初めての方にもご利用いただけることが増えました。1人何回という制限はありませんので、たくさんご利用ください。

・工場周りの整備・美化

本社工場では、共有部分を中心に清掃や備品の更新、置き場の整備など、三重工場では草刈りやシートはりなどを行っています。これまで放置されがちだった、気が付きにくいけれど誰かがやらなければならない部分。そのような場所を洗い出し、計画を立てて改善をしています。実は変わっているところや、綺麗になったところもあるので、気がついていただけたら嬉しいです。



区画線を引き直し、置き場の表示を取り付けました



今後「痒いところに手が届く」を目指して、進めていきます。

・育児休業サポート体制の充実

今ではかなり一般的になった育児休業ですが、詳細を知らない人は意外と多いですね。当事者になって初めて、疑問に思い、調べる方がほとんどだと思います。そのような方にも積極的に取得をしていただけるよう、体制を整えています。

まず、**相談窓口**の設定。「育児休業って取れるの?」「取るためにはどうしたらいい?」という、1番初めの疑問を解決するために、窓口を決めました。各工場の担当者はSmartHRのお知らせや掲示で公開していますので、まずはご相談ください。お問い合わせはSmartHRの申請フォーム「総務への問合せ」からでもOKです。期間や給付金などの疑問点については、総務よりしっかりとご説明しますのでご安心ください。

また、実際に取得された方の声を元に、**面談**も実施しています。育児休業に入る前、休業中、復帰後など、様々なタイミングで仕事との両立に不安を感じられる方も多いと思います。必要なタイミングで上司を含めた面談を行い、仕事への不安や働き方に変更があるかを共有していただきます。

実績	男性	女性
対象者数	7	2
取得者数	5	2
実績	71.4%	100%

昨年も多くの方が取得され、2週間～半年ほどと期間も様々です。ご希望に合わせて取得することが出来ますので、お気軽にご相談ください。



今後に向けて

〈重点課題は情報共有・人材育成〉 今期の課題としてまずは、情報共有がまだまだ足りないという点がありました。皆さんが本当に必要としている情報が届いているのか、そもそも会社について知られていないことがあるのではと、今一度見直し、改善していきます。

また、研修や講座の受講、自己啓発など、人材育成の部分でもさらに活動を広げ、より成長できる環境整備に力を入れていきます。

今後も不定期で状況調査のアンケートを実施させていただきますので、その際はご協力をお願いします。働きたいと思える会社にはどのようなことが必要なのか、皆さんの視点でご提案をいただけたら嬉しいです。

定年退職者の皆さんからの言葉



稲垣 一典さん

昭和56(1981)年、16歳で鈴秀工業に入社。磨棒のプレス切断から始まり、面取、出荷。その後、当知センター(磨棒の小口販売拠点)での勤務を経て本社に戻り、磨棒やCHを行ったり来たりで44年と4ヵ月。バブルがはじけ、二度の震災、リーマンショック、コロナ…と、いろんなことが起きました。ここまでこれたのは皆さんのおかげ。そしてまた5年間、よろしくお願いします。



奥山 篤さん

9月20日をもちまして、定年となりました奥山です。入社以来、みなさんには大変お世話になりましたが、引き続きお世話になります。これまで学び経験したことを活かしてもう少し頑張ります。新たなスタートですが、心新たに精進していきますのでよろしくお願いします。



佐々木 玲子さん

年の瀬に車でショッピングに行った帰り道、ひやかし気分であちこち「職安(ハローワーク)」で紹介されて、その日に面接。いきなり翌日の勤務から始まった鈴秀生活は、気づくと26年間を過ごしていました。たくさんある楽しい思い出、そこにもう少し追加させていただきま。これからまた、お世話になります。



水谷 忠憲さん

入社以来35年、ここまで続けてこれたのも、関わっていただいたみなさんと会社のおかげです。長い鈴秀生活のなかには、自分自身の反省や苦しい思い出もたくさんありました。それでも還暦を超えてなお、みなさんと一緒に働けることがうれしく、あらためて良い会社だなと感じています。これからも引き続き、よろしくお願いします。

○結婚おめでとう selamat Berbahagia!



2人で幸せになれますように。
今日だけでなく、人生の最後まで
一緒にいられますように。

2025年8月14日 挙式
【山口製造課】アクバル プラスティコ
ウルファコニタ

あかちゃん誕生



【品質保証部】北林 久典
カズキ
二男 和樹君
2025年8月16日生

中途入社社員 紹介 よろしく お願いします!



山口製造課 香田 晋佑
2025年3月1日 入社



三重製造課 小岩 優伸
2025年3月24日 入社

Selamat Datang di Agung Suzuhide ようこそ 鈴秀へ



IWWIからの研修生です。

Fery Marlinda



鈴秀・筋トレ部

始動しました!

この度、『鈴秀工業・筋トレ部』を立ち上げるになりました。
ここで「発足の目的」と「活動内容」をご紹介します。

【部の目的】

- ・当社の「健康経営宣言」——
『全従業員が心・身ともに健やかであり、最高のパフォーマンスを発揮できる会社』をめざし、気軽に参加できる“健康の場”をつくります。

【活動内容】

- ・月に1回程度、ジムに集まって一緒にトレーニング!
- ・各自好きなメニューでOK! 筋トレ・有酸素運動も歓迎。
- ・筋トレ好きの部員もいるので、正しい知識を共有しあいケガを防ぎます。
- ・「何をしたいかわからない…」という方でも安心。みんなでサポートします。



トレーニングは苦しいばかり。
怠け心との闘いです。

でも仲間がいれば——時に競い合い、時に励まし合い、昨日までの自分を超える楽しさを味わえます。「独りぼっちではがんばれない僕…」、「だれかに成果を認めてほしい私…」そんな“さみしがり屋さん”の男子と女子が、10名ほど集まりました。

すでに個人でトレーニングをしている人なら、孤独なジムトレからの脱却を、「運動せねば」と思っているけど実行できていない人なら、次の健康診断結果の改善を。どんな目標でも大歓迎! 幽霊部員でも、ぜんぜんOK! 入部を決めたその場所が、健康へのスタートラインです。

こんな私たちに少しでも興味をもったなら、第1製造 大林まで、気軽に声をかけてください。

● 筋トレのメリット ●

- ・姿勢がよくなり、腰痛・肩こりが軽減
- ・血圧が安定します
- ・血糖値が下がります
- ・成長ホルモンの分泌を促進します
- ・認知機能の改善に効果あります
- ・眠りの“質”が良くなります

帰国実習生からのメッセージ

Terima kasih



皆さんおつかれさまでした。
お世話になっております。一糸巻に1動いなり
色々ご教示をしてくれました。
鈴秀工業 いつもありがとうございます。
アグス プディアント

第1製造課(CH) アグス プディアント

計報

2025(令和7)年10月3日。鈴秀工業の「生産技術の父」である、元顧問の鈴木輝彦氏がご逝去されました。享年96歳。

1960年、名古屋市金山から大高の丘陵地に移転した本社工場は、輝彦氏の緻密な計算と様々なアイデアが組み込まれ、その後の鈴秀工業が鉄鋼加工業として飛躍する礎となりました。効率性、安全性を考慮した工場レイアウト、独創的な設備発想はその後に新設される山口工場や三重工場の生産ラインにも反映され、わが社の生産技術思想の基となっています。また困難な技術課題にも積極的に取り組み、勝ち取った特許の数々は鈴秀工業の誇りでありました。

東京大学工学部出身のインテリながら、ボート部出身のバリバリ体育会系。

ものづくりに対して妥協を忌み、現場を愛し、お酒を愛し、仲間を愛おしむ。

その人となりをも慕う社員や取引先は数え切れません。現役時代、ヘルメットをボイと被ってはふらりと現場に現れる、在りし日のお姿を思い出します。

ご冥福をお祈りいたします。合掌。

「鈴秀四季」の目的と役割

- 一、この紙面を通じて、社員相互のコミュニケーションを円滑なものとし、一体感と独自性を持った組織運営の一助となる。
 - 二、この紙面を通じて、鈴秀の未来・将来へつなげる経営の方向性や方針を、社員及びその家族へ伝える一助となる。
 - 三、この紙面を通じて、鈴秀社員として会社及びそれを取り巻く環境についての認識知識を共有できる一助となる。
 - 四、この紙面を通じて、ここ鈴秀で働く仲間たちの活躍やエピソードをピックアップし、一部なりとも紹介できる一助となる。
- なによりも、この紙面は鈴秀社員各位の協力と工夫によって作り上げられ、その一頁一頁が風土、文化へ昇華することを願う。

次回冬号は1月中旬発行予定

編集後記

最近朝晩が少し寒いかなと感じる日も出てきており、秋の訪れを感じられるようになってきました。

今年は興味本位でトロ船を使用して米作りを始めました。夏の酷暑にも負けず、実がついてきて、10月末には収穫できそうな感じになってきました。イベントで作成した石包丁の順番がやって来そうです。

実りの秋と共に、出かけるにも快適な季節になってきました。各地で秋のイベントも開催される事と思います。本格的に寒くなる前に短い秋を存分に満喫しましょう。 山田

編集後記

秋の風が心地よくなり、読書・スポーツ・行楽にぴったりの季節がやってきました。今号のメイン企画は「若手有望社員の目に映る鈴秀の姿」をテーマにした座談会です。若手有望社員の声から、働くことへの価値観や会社への期待が垣間見え、未来に向けた力強い意志が伝わってきます。また、秋の行楽にもってこいの動物施設を写真付きで紹介しています。健康イノベーションでは、見えづらさに悩む「老眼世代」にスポットを当てました。見えれば仕事も快適、趣味ももっと楽しくなるはず。目の健康も、働きやすさの一部です。そして「総務通信」では、緑の下の力持ち・総務チームの奮闘ぶりを紹介しています。今号は、笑い気づき、そしてちょっぴり目のいたわりを詰め込んだ内容となっています。是非お楽しみください。 刑部

値段をのけるJUNOONへんごかな